

AMD Aが 医師団派遣

「多国籍」で計画

計画している。現地に入りやすいよう、イスラム社会の国を含めた多国籍の医師団とする考えだ。

AMD Aは同時多発テロ後、医療支援のため医師らをニューヨークに派遣。一方で、報復攻撃の緊張が高まる中、パキスタンでも情報収集を続けてきた。その結果、米軍による攻撃があれば、パキスタンへのアフガン難民が急増し、医療活動が必要になると判断した。特にタリバーン勢力の本拠地カンダハルに近いパ

キスタンのクエッタにある難民キャンプに最も多くの難民が集まると予想、同地区への医師団派遣を検討している。

医師団はパキスタンでの活動がスムーズに行くように、同じイスラム社会の国を中心にしたメンバーで構成。インドネシア、バングラデシュ、パ

キスタンなどにある支部を通じ、これまでに約10人の医師から派遣の了解を得ているという。

AMD Aの菅波茂理事長は「日本が取り組むべき人道支援を、多国籍NGOとして進めたい。できるだけ大規模にしたいが、資金が心配」と話した。

戦地や災害発生地域で国際的な医療活動をしているNGO（非政府組織）の「AMD A」（本部・岡山市）が、アフガン難民を支援するため、国境付近のパキスタンへ医師団の派遣を